

ユトレヒト自転車展示会 (BIKE MOTION BENELUX) 参観報告

同展示会は昨年より「BENELUX」を展示会名に付け加え、オランダ、ベルギー及びルクセンブルグ市場のユーザー向けスポーツ車の展示会として、2007年10月19日～22日の4日間、オランダ・ユトレヒトの国際展示場で開催された。

【BIKE MOTION BENELUX】

主催： VNU Exhibitions Europe (昨年 Jan de Rooy Producties B.V)

会場： JAARBEURS UTRECHT 展示場

会期： 2007年10月19日(金)～22日(月)

ユーザーデー；19日(金)～21日(日)、ビジネスデー：22日(月)

開催時間： 19日14:00～21:00、20・21日10:00～17:00、22日10:00～18:00

展示面積： ホール1・2、22,000㎡(昨年20,000㎡)

入場者数： 18,348人(昨年20,000人)

出展者数： 150社400ブランド(昨年175社)



展示会場の様子 (左：Hall.1、右：Hall.2)

主催者の変更

今年からBIKE MOTION BENELUXの主催者は、「Jan de Rooy Producties B.V」(以後 Jan de Rooy 社)から「VNU Exhibitions Europe」(以後 VNU 社)に変わった。この展示会を11年前から開催してきた Jan de Rooy 社は、昨年展示会終了後からこのイベントをより発展させることの出来る新たな主催者を探していた。VNU 社は欧州のベネルクス地域を始め、米国や中国でも様々な展示会やイベント運営の実績がある。現在、アメリカ・ラスベガスの自転車展「Interbike」は同社が主催者であり、自転車展示会運営に関するノウハウを備えている。この新しい主催者は、催事運営に当たって正確な数値を公表することが大切だとしている。2007年の入場者数18,348人は、前年公表の入場者数20,000人より減少しているが、VNU 社では去年の実質的な来場者数は15,000人前後とみている。主催者発表によると、開催日別で3日間のユーザーデー来場者は15,902人、ビジネスデーの来場者は2,446人である。また、属

性別では 13,223 名がユーザー、2,623 名が招待客等の関係者、2,502 名が販売業者や報道関係者という内訳であった。

展示会概要

主にオランダ市場を対象としたユーザー向けのスポーツ車中心の展示会であるため、各社ともロードレーサー、MTB の展示に力を入れていた。自転車競技も盛んな土地柄でありロードレーサーの人気は高い。主催者のアンケート調査によると、来場者のうち 72% は自転車競技に関心を持ち、更に 66% は MTB の愛好者でもある。ビアンキ、ピナレロ、チネリ、デ・ローザ、クオータといったイタリア勢の他、地元のエディー・メルクス、コガミヤタなどもロードレーサーを揃えていた。その他欧州ブランドでは、スコット、LOOK、サーベロ、オル



Jan Janssen



エディー・メルクス



PRORACE



VISION

ベア、bmc、CUBE、FOCUS、BULLS、コラテック、STEVENS、ゴーストが展示されていた。米国ブランドはスペシャライズド、トレック、キャノンデールが揃い、MTB についても、上記ブランドの他、ジャイアント、メリダ・センチュリオン、ロッキーマウンテン、GT などの展示が見られた。ダッチサイクル等の一般用自転車が新車販売シェア約 60% を占めるオランダ市場ではあるが、スポーツ車の出展は充実していた。また、ユーザーは既存ブランドだけでな

く新しいものにも関心が強く、ラボバンクチーム所属、ツール・ド・フランス山岳賞を取った地元オランダの実力選手、ミカエル・ラスムッセンが自身のブランド「MOA sports」の広報のため 21 日に来場し、この新ブランドも来場者から大変な注目を集めた。

バタバスの参加

オランダの二大メーカーのうち、ガゼレは昨年からはスポーツ車のみの出展を開始し、バタバスも今年から同様に展覧を再開した。かつて両社は、独自の取扱店向け展示会を開催していたため、同展には参加していなかった。オランダ市場は、自転車専門小売店の販売シェアが高く高額商品が売れるが、オランダメーカーによる販売店の囲い込み等の閉鎖的な面もある。ベネルクス市場のユーザーは、高品質のスポーツ車や部品・付属品に強い関心を持っており、ユーザーを対象にした同展の役割は続くものと見られる。



ガゼレ



バタバス

来年の予定

来年は開期を 10 日程遅らせ、2008 年 10 月 31 日から 11 月 3 日までの開催予定である。会場は同じユトレヒトの国際展示場で、例年 2 ホールを使用しているが、既に予約で小間が埋まりつつあるため、来年に向けて更に 1 ホール増やし、ホール 10, 11 及び 12 の合計 3 ホールを既に展示会用に確保している。主催者側では、展示面積拡大によりこの展示会の更なる発展を期待しており同展にはその可能性があるかとみている。



展示数は少ないが、ダッチサイクル等のシティ車の人気は根強い

以上

(デュッセルドルフ事務所)